

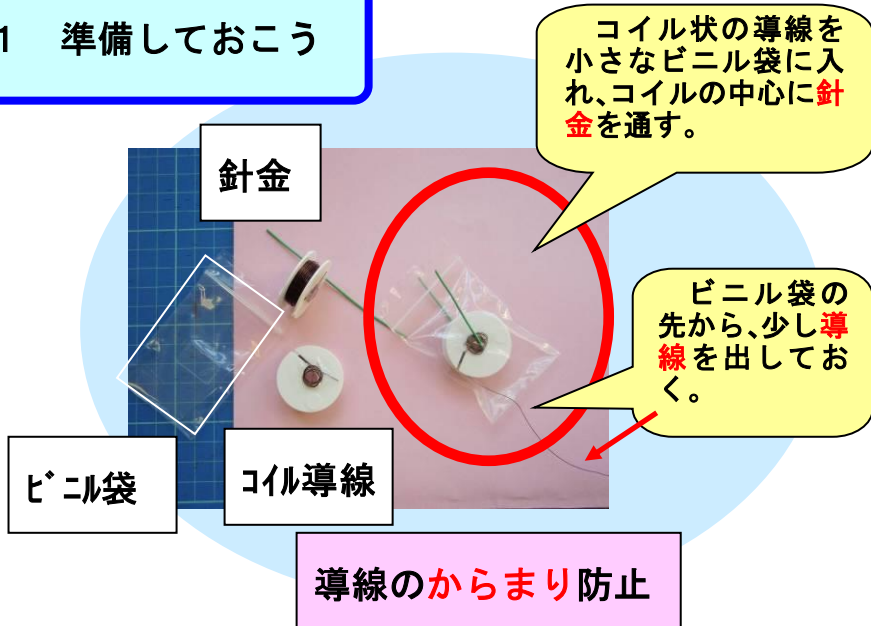
コイルモーターを作ろう

熊本博物館：山口

コイルモーター完成！

「いきおいよく」回るかな！？

1 準備しておこう



針金

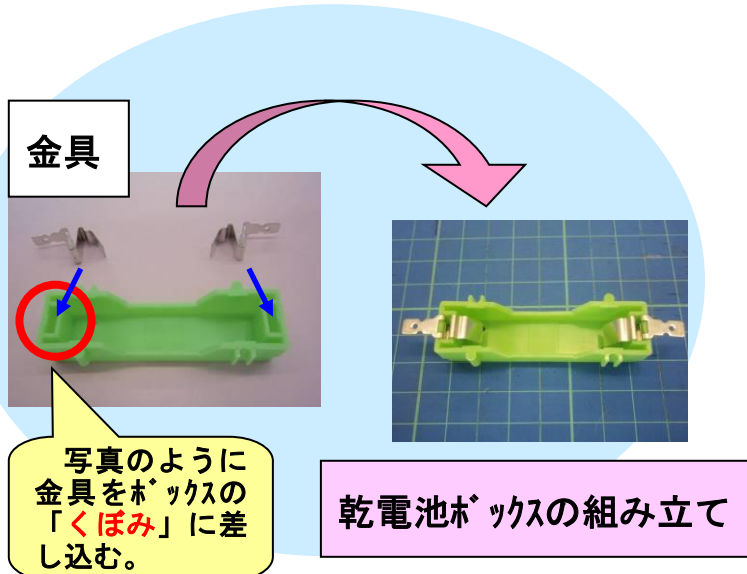
コイル導線

ビニル袋

導線のからまり防止

コイル状の導線を小さなビニル袋に入れ、コイルの中心に針金を通す。

ビニル袋の先から、少し導線を出しておく。



金具

乾電池ボックスの組み立て

写真のように金具をボックスの「くぼみ」に差し込む。

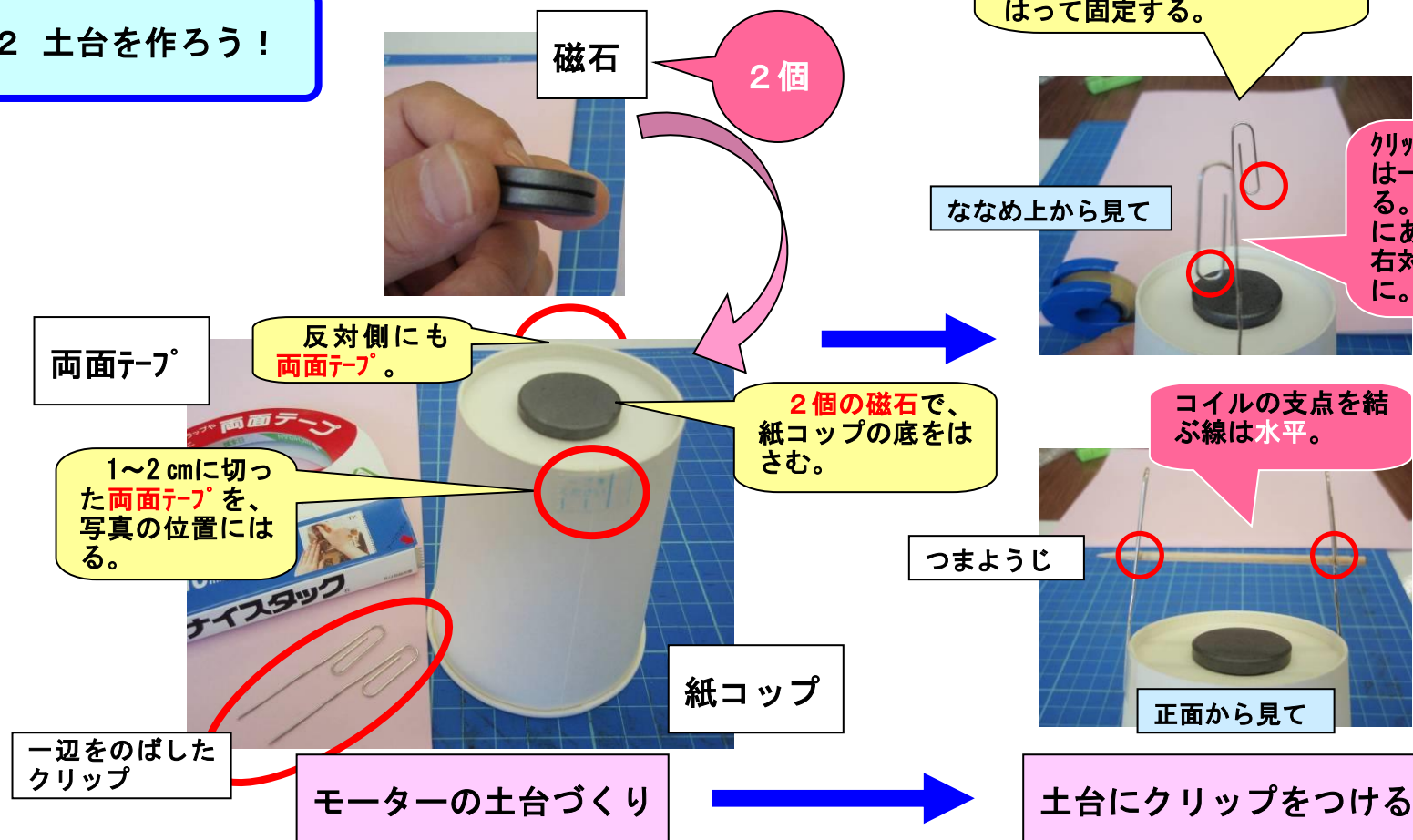
片方のうでのエナメルは紙やすりでみがいて上(下)半分だけみががす。

もう一方のうでのエナメルは紙やすりでみがいて全部はがす。(または、左右のうで、ともに上半分だけみががいてもOK!!)



コイルに電流を流すと・・・

2 土台を作ろう！



磁石 2個

両面テープ

紙コップ

つまようじ

正面から見て

モーターの土台づくり

土台にクリップをつける

反対側にも両面テープ。

2個の磁石で、紙コップの底をはさむ。

コイルの支点を結ぶ線は水平。

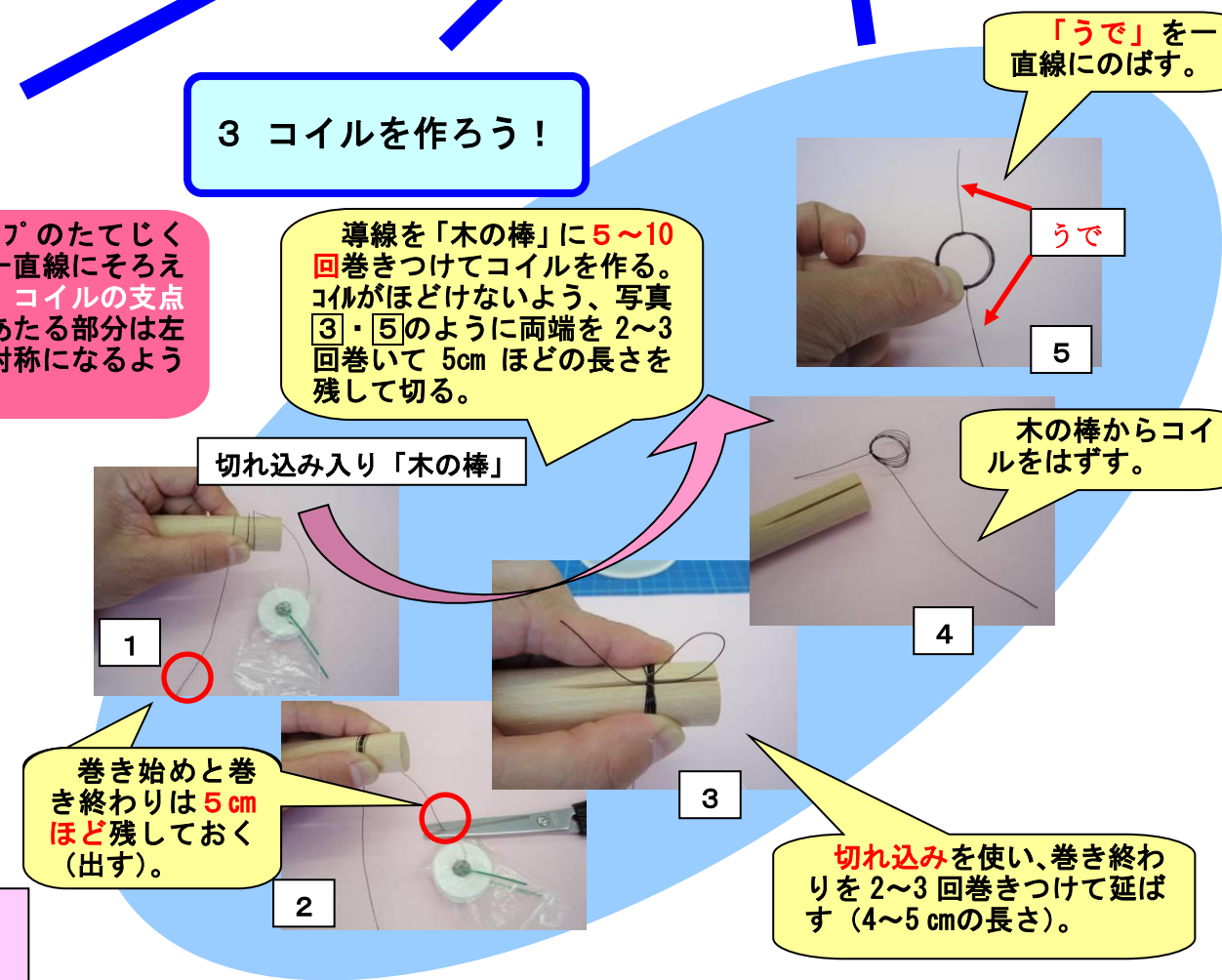
両面テープのシールをはがしてクリップのじくをつける。その上からセロテープをはって固定する。

ななめ上から見て

1~2 cmに切った両面テープを、写真の位置にはる。

一辺をのばしたクリップ

3 コイルを作ろう！



「うで」を一直線にのぼす。

うで

5

木の棒からコイルをはずす。

4

導線を「木の棒」に5~10回巻きつけてコイルを作る。コイルがほどけないよう、写真③・⑤のように両端を2~3回巻いて5cmほどの長さを残して切る。

切れ込み入り「木の棒」

1

2

3

巻き始めと巻き終わりは5cmほど残しておく(出す)。

切れ込みを使い、巻き終わりを2~3回巻きつけて延ばす(4~5cmの長さ)。